



CYBERDYNE

**2021年3月期
第1四半期決算説明資料**

CYBERDYNE株式会社

2020年8月14日

連結業績 - 前期比較



売上収益 359百万円 (8.8%減少)

当期利益 △129百万円

(百万円)

	FY2019 Q1	FY2020 Q1	増減額	増減率
売上収益 (売上総利益)	393 (286)	359 (252)	-34 (-34)	-8.8% (-11.8%)
営業利益	-173	-230	-57	—
税引前利益	279	-66	-345	—
当期利益 (親会社帰属)	156	-129	-285	—

新型コロナによる直接的な影響 (-65M)

- 売上 : サービス売上の減少 -42M
- 販管費 : 海外債権の支払減免 -23M

投資有価証券関連益 77M (純額)

(内訳)

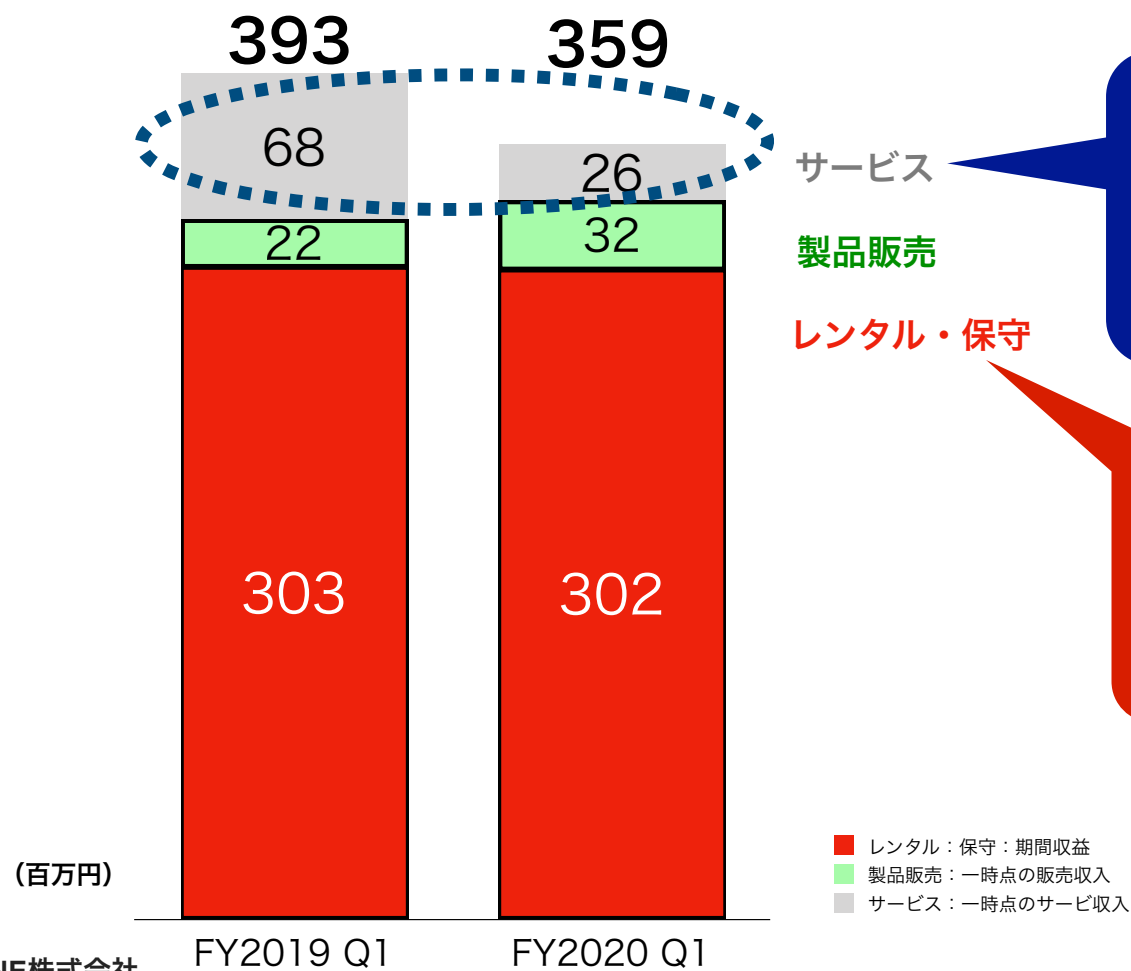
- 評価益 +247M (金融収益・CEJに係る損益)
- 税効果 -75M (法人所得税費用)
- 振替 -95M (CEJファンドの外部投資家持分)

参考) 前期の投資有価証券関連益 300M (純額)

連結売上実績（取引別）



Q1をボトムに、Q2以降に回復基調



サービス売上の減少

新型コロナによる休業・自粛の影響
(ロボケア・ドイツ治療サービス)

レンタル・保守売上は横ばい

ストックビジネスにより底堅く維持

1) 法人向け新型コロナ対策

- 自律走行型「消毒作業ロボット」

→除菌ユニットやエレベータ自動乗降などで、除菌消毒作業の自動化

2) 個人向け新型コロナ対策（DtoCビジネスの新規開拓）

- 自宅で「Neuro HALFIT」

→外出自粛による身体機能の低下リスクに対するソリューション

3) 医療機関向けHALレンタル

- 国内：医療用HAL「単関節タイプ」 → 下期から販売開始（保険適用決定済）
- 海外：APAC各国での医療用HALの導入（各国で医療機器承認）

※脳卒中治験：「2020年12月」に完了予定

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。

CYBERDYNE株式会社